

# 2024年度 第3四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	有機EL材料(輸送材料、発光材料、表面保護材料)、バイオ材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	先端材料	カラーフィルター用染料、近赤外吸収材料、有機太陽電池材料
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬・農業資材	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

## 第3四半期累計

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

連 結	2023年度	2024年度	前年同期比
売 上 高	31,642	37,239	+ 5,596
営 業 利 益	2,412	4,584	+ 2,171
経 常 利 益	3,012	4,682	+ 1,670
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,563	2,883	+ 1,319

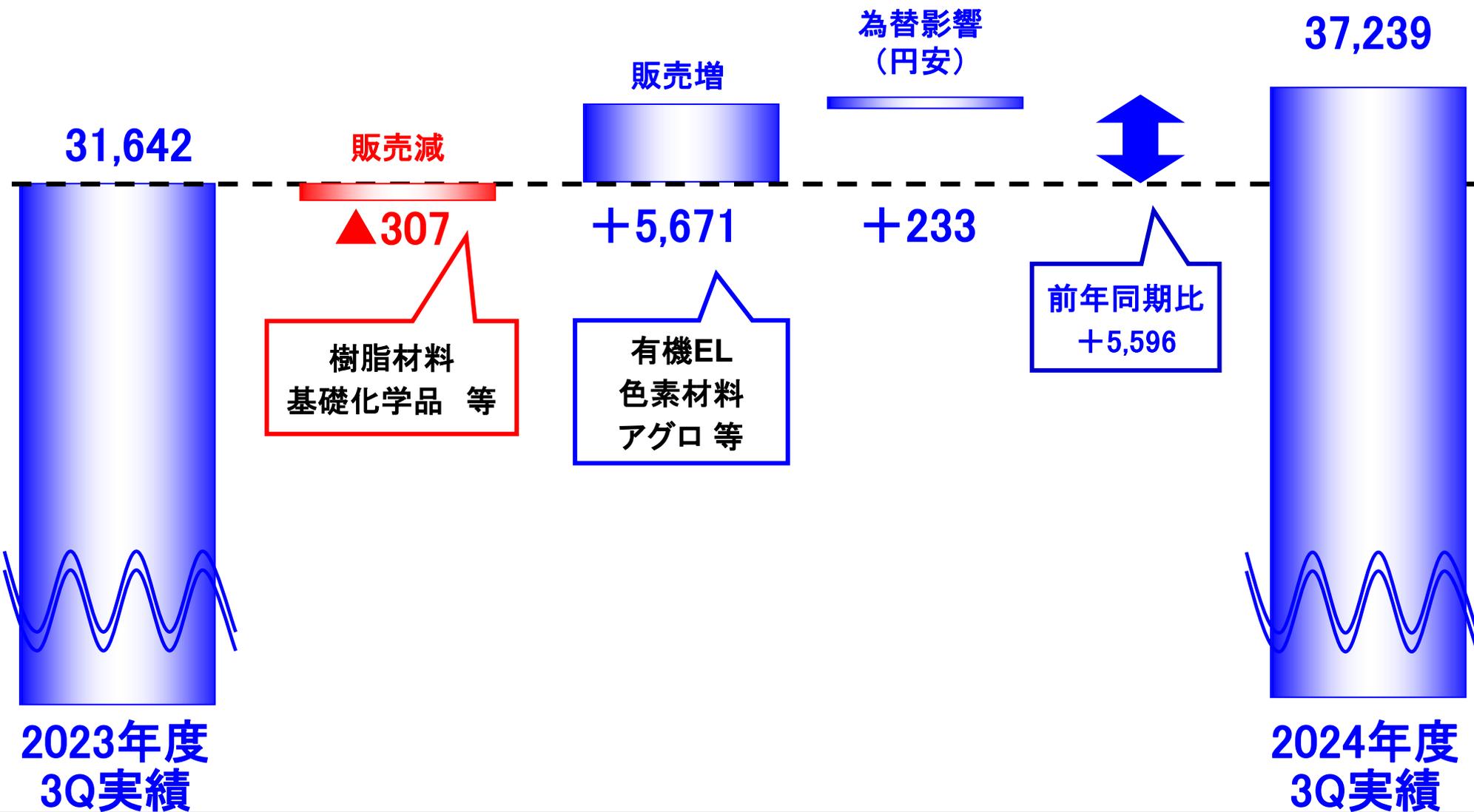
為替レート

\$=143.79円  
W=0.1092円

\$=153.07円  
W=0.1110円

\$=ドル  
W=韓国ウォン

(単位:百万円)



- ・ **売上高**は、特に機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が拡大したことにより、5,596百万円の**増収**
- ・ **営業利益**は、主に有機EL材料の販売拡大により、2,171百万円の**増益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の増加により、1,670百万円の**増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の増加により、1,319百万円の**増益**

(単位:億円)

科目	2024年 3月末	2024年 12月末	増 減
(流動資産)	386	384	▲2
現預金	129	118	▲11
売上債権	122	112	▲10
棚卸資産	126	143	+17
その他	8	9	+1
(固定資産)	424	440	+15
有形・無形 固定資産	292	306	+13
投資有価証券	108	107	▲1
その他	23	26	+2
合計	811	825	+13

科目	2024年 3月末	2024年 12月末	増 減
(負債)	237	226	▲10
仕入債務	51	51	+0
有利子負債	93	87	▲5
その他	91	86	▲5
(純資産)	574	598	+24
資本金	111	111	-
資本剰余金	79	79	-
利益剰余金	206	228	+22
その他	176	178	+2
合計	811	825	+13

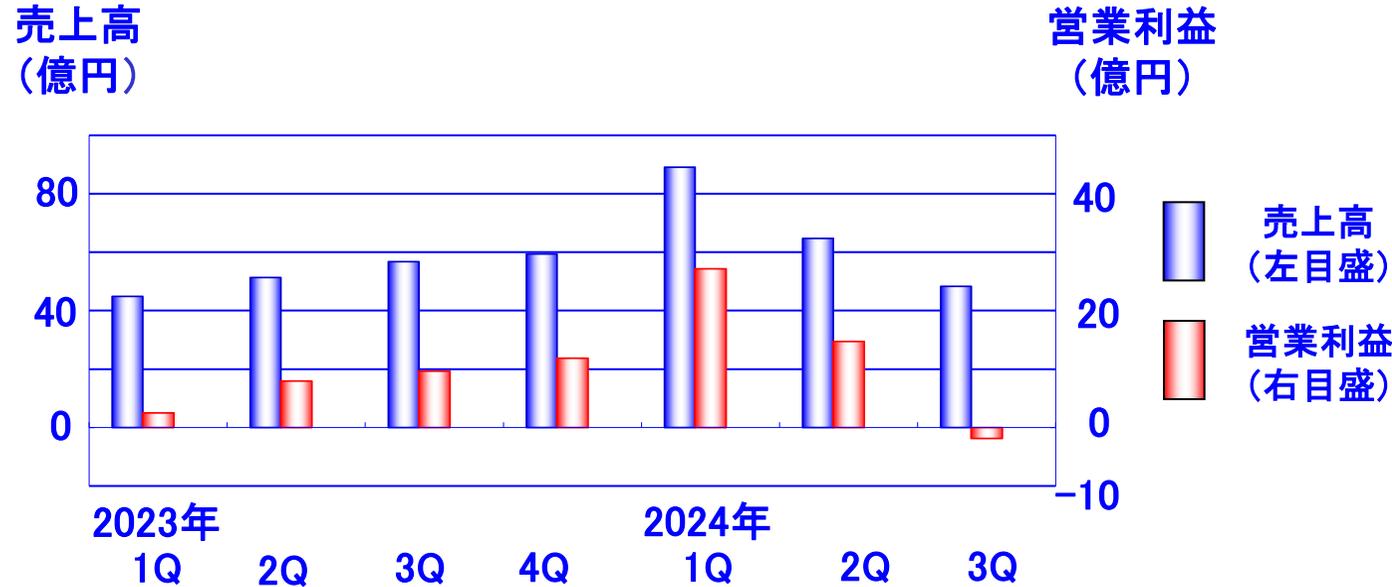
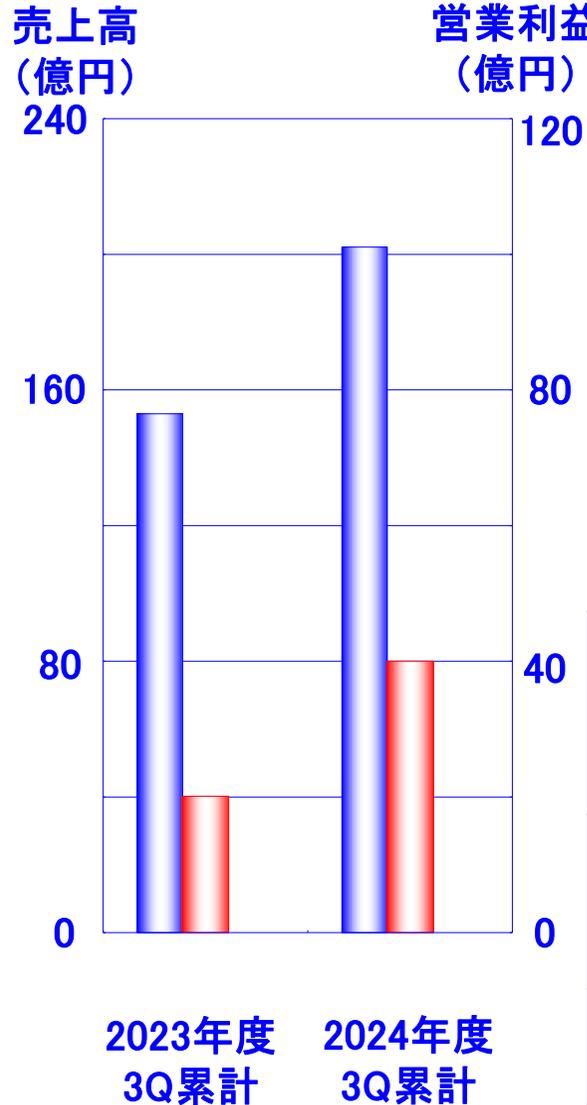
第3四半期累計 単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

セグメント	2023年度	2024年度	前年同期比
機能性色素	15,298	20,213	+ 4,914
機能性樹脂	6,113	6,331	+ 217
基礎化学品	5,859	5,769	▲ 90
アグロサイエンス	3,024	3,441	+ 417
物流関連	1,223	1,359	+ 135
その他	122	125	+ 2
合計	31,642	37,239	+ 5,596

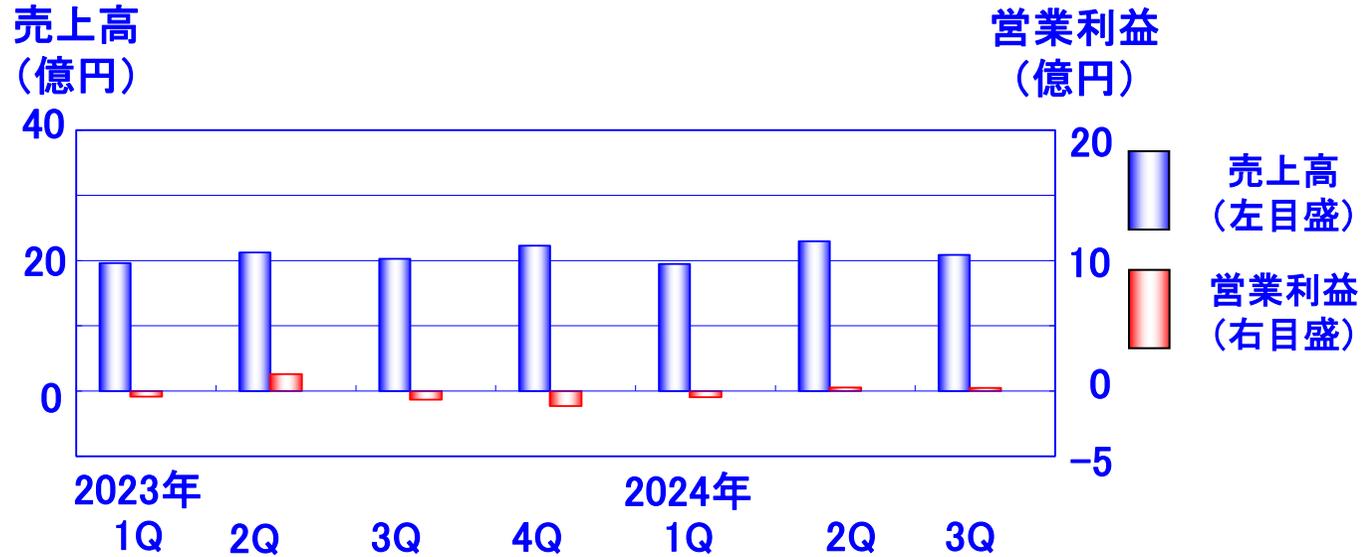
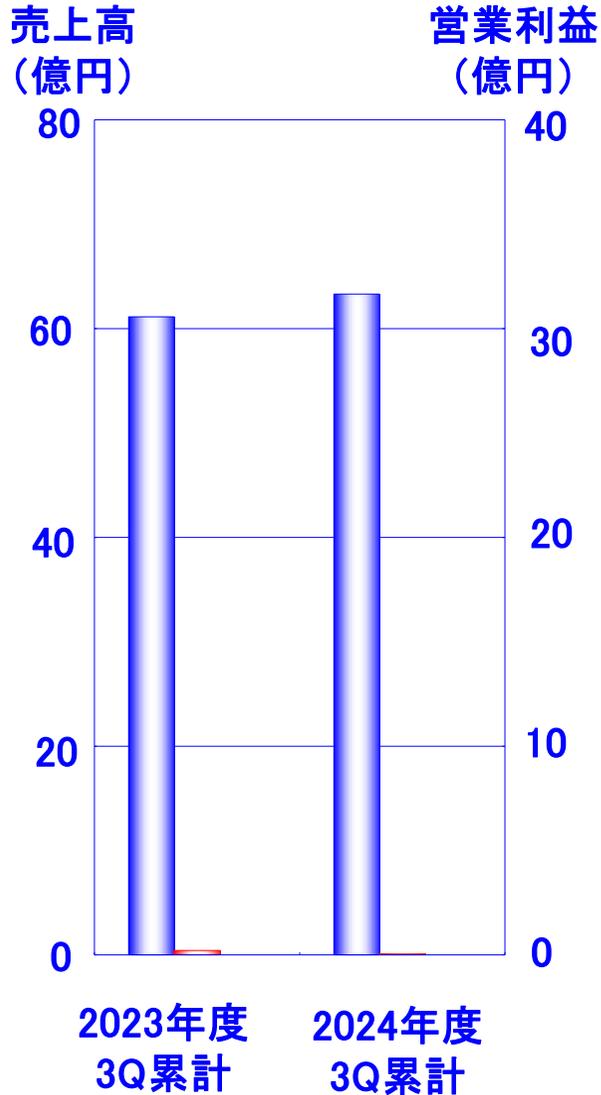
第3四半期累計

単位:百万円  
表示:百万円未満切捨

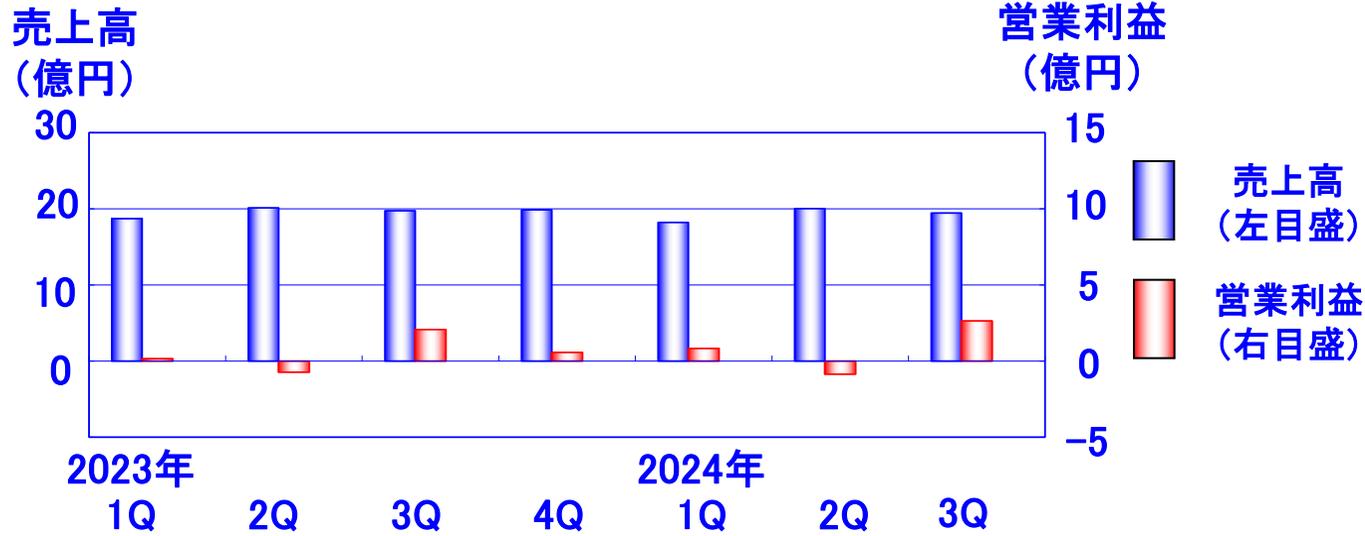
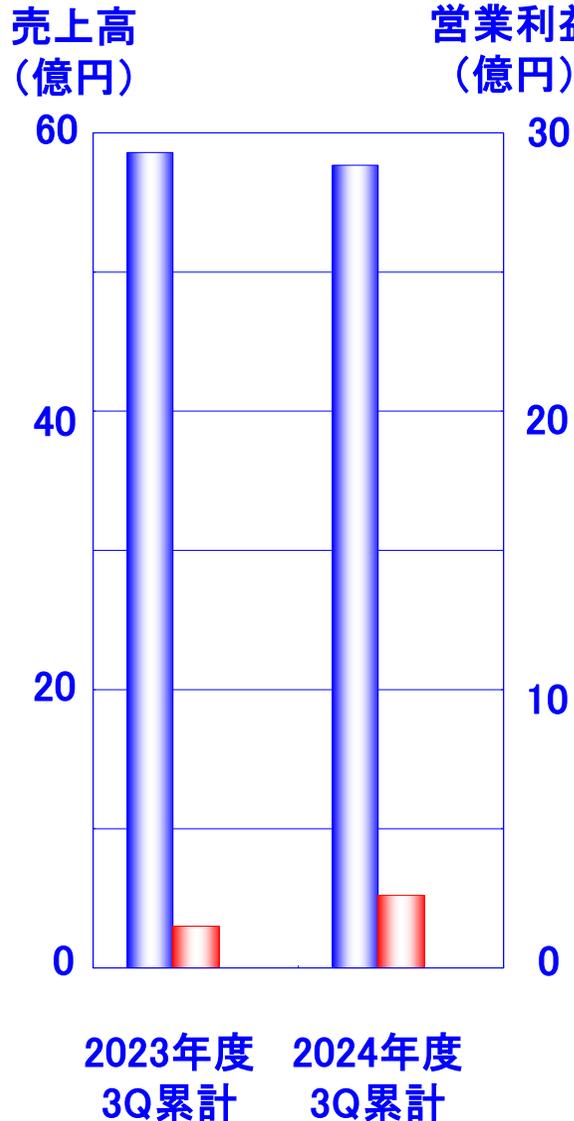
セグメント	2023年度	2024年度	前年同期比
機能性色素	2,011	4,001	+ 1,989
機能性樹脂	21	4	▲ 17
基礎化学品	150	261	+ 111
アグロサイエンス	43	56	+ 13
物流関連	181	256	+ 75
その他	3	2	▲ 0
合計	2,412	4,584	+ 2,171



有機EL材料	スマートフォン向けで第3四半期に入り需要減少が見られたものの、上期までのタブレット端末向けも加えた需要の伸長により、第3四半期累計において大幅な増収	▲
色素材料	アルミ着色用染料の需要がスマートフォンやその他汎用品向けを中心に引き続き大幅に増加し、また、文具用染料の堅調な需要等により、色素材料事業全体としては大幅な増収	▲
イメージング材料	プリンター向け材料の需要が海外を中心に回復し、前年同期比で大幅な増収	▲



樹脂材料	一部販売増となった製品があるものの、ウレタン材料で市況低迷の影響が続いており、大幅な減収	↓
特殊化学品	剥離材向け及び医薬向けの需要が海外を中心に回復し、前年同期並み	→
建築材料	大型商業施設の駐車場等におけるウレタン防水工事の受注により、増収	↗

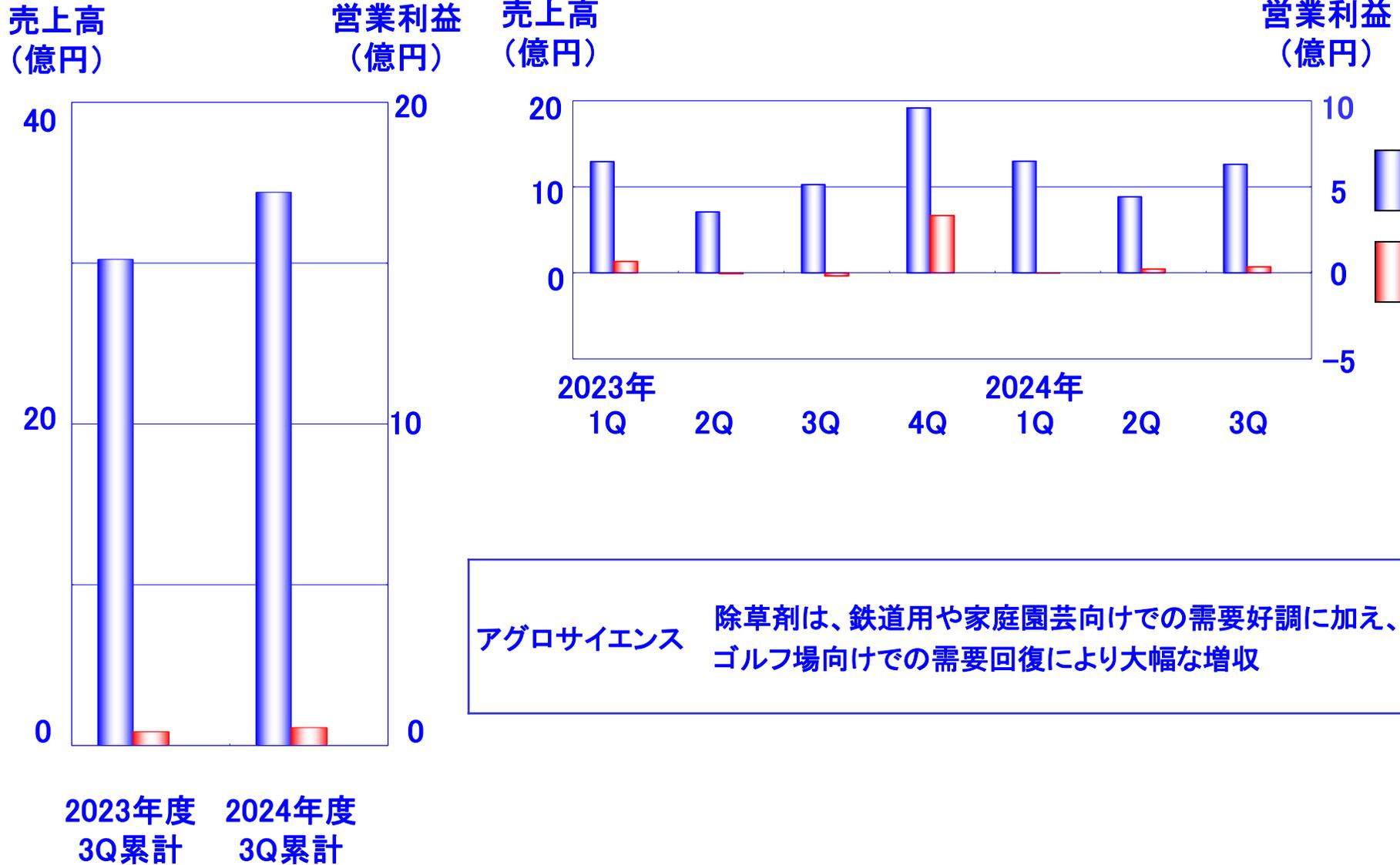


過酸化水素  
及び  
誘導品（※）

過酸化水素は、紙パルプ向けの販売増がみられたものの、半導体向けの需要回復が遅れており、前年同期並み  
一方、過炭酸ナトリウムにおいては、漂白剤向けで上半期における主要顧客での生産調整等が影響し、大幅な減収



※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス 除草剤は、鉄道用や家庭園芸向けの需要好調に加え、ゴルフ場向けの需要回復により大幅な増収

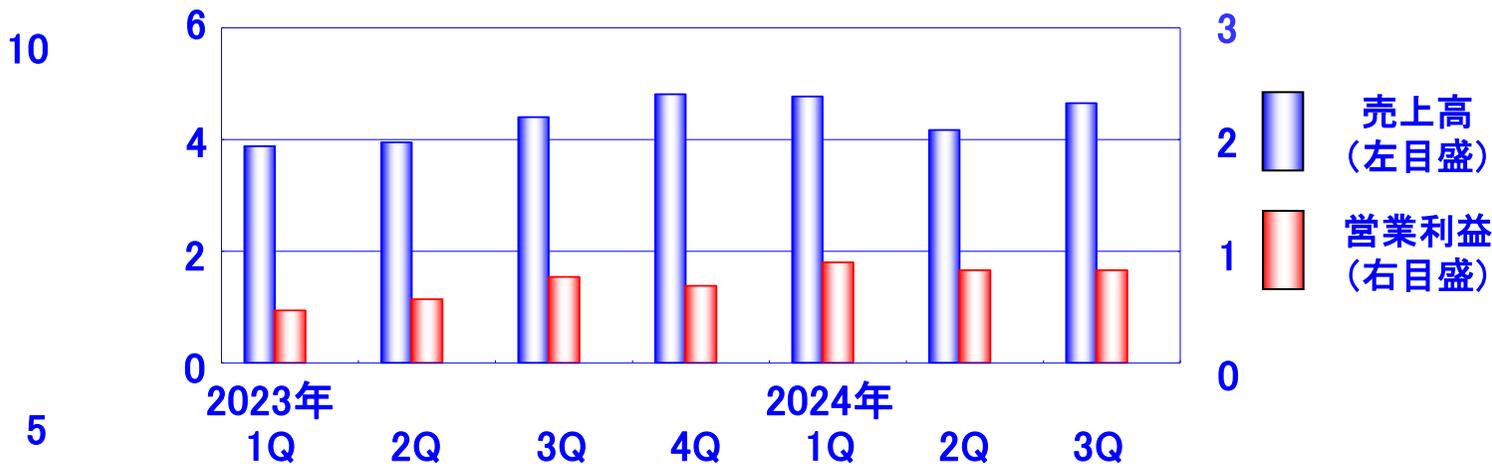
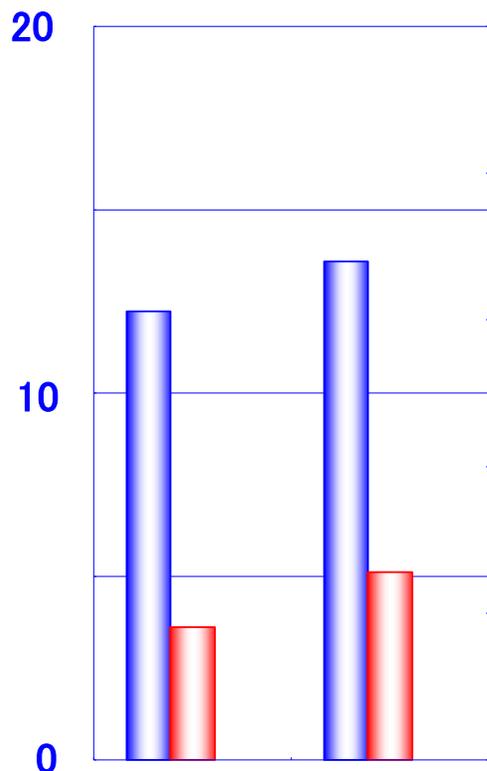


売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



**物流関連** 輸出等の荷動きが堅調に推移したこと、国内における危険物保管事業での取り扱い増により、増収



2023年度 3Q累計    2024年度 3Q累計

## ・連結業績予想(11月13日時点)と進捗率

(単位:百万円)

科目	2024年度 業績予想	2024年度 第3四半期累計	進捗率
売上高	50,000	37,239	74%
営業利益	5,500	4,584	83%
経常利益	5,500	4,682	85%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,300	2,883	87%

第2四半期累計(上半期)時点での有機EL材料を中心とした機能性色素セグメントの前年度比大幅増収・増益により、2024年11月13日に業績予想を上方修正いたしました。

当第3四半期における有機EL材料事業は、子会社で実施した事業投資費用の負担が増加したことに加え、スマートフォン向け需要減少や上半期中の増収・増益に対する各種調整も影響し、第1四半期および第2四半期比減収・減益となっております。

第4四半期の有機EL材料の需要は第3四半期と同様の傾向が継続することも想定されますが、機能性色素セグメント以外のセグメントの状況等を踏まえ、業績予想は据え置きます。